

平成29年度 川内すわこども園
自己評価・学校関係評価結果公表シート

学校評価委員会日時：平成30年2月13日（火）

【学校評価委員会検討事項】

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目等が適切かどうか
- ・こども園運営の改善に向けた取組が適切かどうか

1、重点項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
Ⅲ 保育者としての資質や能力・良識・適性	・職員間での報告、連絡、相談を徹底の重要性を全体で再確認。伝達等の漏れがないよう各自心がけクラスホワイトボード、掲示板の活用、口頭ではなく必ずメモ、記録に残すよう対策を立てた。
Ⅴ 地域の自然や社会とのかかわり	・今年度より環境教育が始まり、環境について考える機会を作っている。保育参観や育児講座以外にも意識して、園の周りの自然について子どもたちに伝えるようになった。
Ⅵ 保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	・些細な事でも職員間で問題解決に向けてよく話し合っており、連携を取るよう保育教諭一人一人が心がけている。また、そのことが普段の保育中に出来る研修・研究だという事に職員一人一人が意識することができている。
Ⅷ 地域における子育て支援	・子育て支援事業の一環として病児保育事業、地域子育て支援拠点事業、放課後児童クラブ事業等様々な事業を実施しているが、子育て支援担当以外の保育者も、来園された方が心地良い場所であるように子ども達と一緒に明るくあいさつしたり、声をかけたり園に入りやすい雰囲気作りを心がけている。

2、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>1. こども園は、保育方針をわかりやすく伝えている。</p> <p>2. こども園は、他の幼稚園・保育園にない独自の活動に取り組んでいる。</p> <p>3. こども園は、家庭との連携を適切に行っている。</p> <p>4. こどもにとって、こども園は楽しい場所だと思う。</p> <p>5. こども園の教育・保育方針に共感できる。</p> <p>6. こども園の雰囲気がよく、こどもが生き生きとしている。</p> <p>7. こども園の行事は活発である。</p> <p>8. こども園は、自分の生き方を考え、豊かな心を持ったこどもを育てようとしている。</p> <p>9. こども園は、こどもに社会生活におけるモラルやルールを守る態度を育てようとしている。</p> <p>10. こども園は、こどもに人権を尊重する意識を育てようとしている。</p> <p>11. こども園は、必要な保育時間は確保されている。</p>
<p>Ⅱ 学校運営に関して</p> <p>12. こども園は、学校運営の方針を明らかにしている。</p> <p>13. こども園は、警報発令時の対応について、こどもや保護者に周知されている。</p> <p>14. こども園の施設・設備は、環境の面でほぼ満足できる。</p>

15. こども園は、事故の防止に配慮している。
16. こども園が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。
17. こども園は、ホームページでよく情報を発信している。
18. こども園では、こどもや保護者に関するプライバシーが守られている。
19. こども園は、保護者と話をする機会を多く持っている。
20. こども園では、保護者会活動は活発である。

21.年間の行事について

年間行事についてはおおむね満足している。

開催時期場所等については毎年保護者にアンケートを実施してほしい。

22.制服について

園児服については、あってほしい、なくてもいい等意見は様々でなかなか意見がまとまらなかった。
今後も検討課題としていく。

23.その他（保育参加、おやじの会等々）

保護者の保育参加は是非してほしい。おやじの会についても同様。

3、これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
II 保育の在り方・3歳以上児への対応	・クラスの課題や製作と行事に結びつかない現状も見受けられるので、行事と製作等がさらに結びつくよう見直し、活動が意欲的となるよう計画していきたい。そこで、デイリプログラム、行事の見直しを行った。来年度は管理運営計画を修正していく。
IV 保護者への対応・守秘義務	・記録の大切さについて各保育者の自覚が育っている。こども園としての記録事項及び保存期間の明確な基準づくりを来年度に向けて取り組みたい。
VI 保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	・研修に自己課題を持ち、積極的に取り組み、報告もできている。ただし、興味・関心の幅が広がっていないことが分かったので、行事等の見直しを行い、業務量と質の改善を図り興味や関心の幅を広げたい。
IV 保育の在り方・3歳未満児への対応	・3歳未満児はより個別的な対応が必要になるため、職員間での連携が必須である。全職員が協力して子どもの保育にあたることができるように保育の環境設定を行った。来年度はさらに担当制保育を充実させていく。

【学校関係者評価委員会メンバー】(敬称略)

委員長 森崎 靖之
 副委員長 堂元 和樹
 委員 森崎 愛
 木場 絵美
 峯元 真理
 内西 舞
 野村 愛倫
 小濱 みお
 西須 さゆり
 奥 友里恵
 小濱 高明